平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林産物品評会

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

事業の目的

生産性及び品質の向上を目的に農産物を品評することにより、農林産物生産者の営農意欲の増進を図る。
また、幅広く消費者に宇陀の農林産物を販売するとともに、新鮮・安心・安全性の啓発を推進し、地域農林業の発展を図る。

根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

生産者より、品評会に出品された宇陀市内の農林産物の審査を行い、優秀な農林産物の生産者に対し表彰を行った後、即売会を実施する。

（単位：千円）

項目	金額	摘要
報償費	173	参加賞、副賞等
需用費	10	消耗品等
役務費	27	郵送料
会場設営委託料	300	パーティション設営料
合計	510	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の営農意欲と生産性及び品質の向上を図り、また消費者に対して宇陀市産農林産物のPRを行う。

成果
平成29年度は、10月21日に宇陀市総合体育館（うだ産フェスタ会場）で開催し、市内農林家が生産した農林産物の啓発（新鮮・安全・安心）を図った。
出品数　野菜・果実等　229品
　　ダリア切り花　120鉢
即売会収益　32,000円（善意銀行へ預託）

財源の内訳	（単位：千円）
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	510
H30予算額	510
H29当初予算額	554
H29現計予算額	554
増減額	▲ 44

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	517	554
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,317	1,354

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	出品数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	166	単位	品	229	単位	品
単位当たりコスト（円）	7,934			5,913		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(3)農林産物品評会の開催

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業用暗渠排水設置事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

事業の目的

農地の適正な機能を発揮させ、農作物の安定した生産を推進するため、土壌水分の管理性向上と暗渠排水施設を設置する費用の一部を補助する。

根拠条例等	宇陀市暗渠排水設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

■事業概要
【事業補助金】
1m当たり300円以内
【事業予定量】
1,500m×300円＝450,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
土壌水分等による条件不利農地の整備により、農業機械の導入などによる作業の効率化を図るとともに、生産性の向上と耕作放棄地の減少を防ぐ。

成果

年　度	件数	距　離
平成25年度	5件	1,084 m
平成26年度	2件	126 m
平成27年度	4件	358 m
平成28年度	0件	0 m

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	450
一般財源	
H30予算額	450
H29当初予算額	450
H29現計予算額	450
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	0	450
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	800	1,250

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備延長					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		67	単位	m
単位当たりコスト　（円）				18,657		

特定財源の状況

農業支援基金繰入金　450千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(5)宇陀市農業支援基金事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業用雨除けハウス設置事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市の特産品であるホウレンソウなどの生産において、需要の高い夏季に降雨による生産障害を防ぎ、また周年栽培による生産を促進するため、雨除けハウス設置に係る経費の一部を補助する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市雨除けハウス設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

■事業概要
【事業補助金】
1㎡当たり500円以内
【事業予定量】
2,000㎡×500円＝1,000,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
冷涼な夏季の気象条件に適した、高品質のホウレンソウなどの軟弱野菜が周年栽培化され、安定した農業経営が図れる。

成果

年　度	件数	面　積
平成25年度	5件	1,368 ㎡
平成26年度	3件	1,872 ㎡
平成27年度	2件	588 ㎡
平成28年度	0件	0 ㎡

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,000
一般財源	
H30予算額	1,000
H29当初予算額	1,000
H29現計予算額	1,000
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	0	240
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	800	800

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	設置面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		480	単位	㎡
単位当たりコスト　（円）				1,667		

特定財源の状況

農業支援基金繰入金　1,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(5)宇陀市農業支援基金事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借り上げ事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

事業の目的

農地及び作業道や用水路等、農業用施設の機能を適正に発揮し、農業経営の安定向上を図るため、小規模の災害復旧作業や維持補修に必要な重機等の借上げに係る費用を助成することにより、経費負担を軽減し早期の機能回復に寄与する。

根拠条例等	宇陀市農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

小規模な自然災害や維持補修などの復旧に要する重機等のリースに係る経費の一部を補助する。
・施設
重機借り上げ最大2日間35,000円以内
（借り上げ料70,000円×50%）×30件＝1,050,000円
・農地
重機借り上げ最大1日間25,000円以内
（借り上げ料50,000円×50%）×16件＝　400,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

成果

年　度	件数
平成25年度	26件
平成26年度	42件
平成27年度	14件
平成28年度	34件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,450
一般財源	
H30予算額	1,450
H29当初予算額	1,450
H29現計予算額	1,450
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,113	1,450
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	2,713	3,050
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	申請件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	34 単位 件	50 単位 件
単位当たりコスト　（円）	79,794	61,000

特定財源の状況

農業支援基金繰入金　1,450千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(5)宇陀市農業支援基金事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除施設設置被害防除事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う経費の一部を補助する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

有害鳥獣の侵入防止のための柵・ネット・電気柵など、1m当たり300円以内で補助を行う。
10,000m×300円＝3,000,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

成果

年　度	件数	距　離
平成25年度	51件	13km
平成26年度	47件	12km
平成27年度	77件	13km
平成28年度	83件	21km

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,000
H30予算額	3,000
H29当初予算額	3,000
H29現計予算額	3,000
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,320	3,000
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	5,720	5,400
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	設置件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	83 単位 件	80 単位 件
単位当たりコスト　（円）	68,916	67,500

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(6)有害鳥獣対策の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	機構集積協力金交付事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

事業の目的

農地中間管理機構を通して、農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、担い手への農地集積や集約化を加速させることを目的に、市がその目的に参画する者に対して集積協力金を交付する。

根拠条例等	宇陀市農地中間管理機構集積協力金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

（単位：円）

項　目	摘　要	金　額
地域集積協力金	10,000円／0.1ha×1ha	100,000
経営転換協力金	25,000円／0.1ha×1ha	250,000
耕作者集積協力金	5,000円／0.1ha×1ha	50,000
合　計（県費100%）		400,000

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

農地中間管理機構という公的な機関を介することで、出し手・受け手が安心して、農地の貸し借りが出来る条件整備が行える。
そのため、農地中間管理機構に農地を貸し出す農家と、機構にまとまった農地を貸し出すことに合意した地域への支援として、「機構集積協力金」を交付することで、農地の流動化（担い手への農地集積・集約）が推進される。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	400
市　債	
その他	
一般財源	
H30予算額	400
H29 当初予算額	500
H29 現計予算額	500
増減額	▲ 100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

機構集積協力金　400千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	2	数量調整円滑化推進事業費

事業の目的

米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等に基づき、生産者が円滑に受給に応じた生産に取り組めるよう農家組合を通じて情報提供を行う。

根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

米政策改革推進対策を推進するため、配分ルールの設定、助言指導、計画書の作成、確認業務などを行う。

（単位：千円）

項　目	金　額	摘　要
賃　金	386	臨時職員賃金
需　用　費	81	消耗品費、燃料代、印刷代
役　務　費	10	郵送料
合　計	477	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市の振興作物の販売や水田活用、担い手の育成等の将来性を明確にし、生産対策及び経営対策を実施することにより、水田農業の構造改革を促進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	477
市　債	
その他	
一般財源	
H30予算額	477
H29 当初予算額	530
H29 現計予算額	530
増減額	▲ 53

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	541	530
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	2,941	2,930

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	農家戸数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	3,228	単位	戸	3,228	単位	戸
単位当たりコスト　（円）	911			908		

特定財源の状況

数量調整円滑化推進事業補助金
477千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域等直接支払交付金事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的

流域の上流部に位置する中山間地域の農地は、水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能により、下流域の都市住民等の生命・財産・暮らしを守っている。
しかし、中山間地域等では、平地に比べ、自然的・経済的・社会的条件が不利な地域や高齢化による担い手の減少、耕作放棄地の増加等により、多面的機能が低下し、大きな経済的損失が懸念されている。
そのため、中山間地域等において、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業の生産条件に関する不利を補正する支援を行い、多面的機能の確保を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	4	中山間地域直接支払事業費

根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

実施期間	平成27年度～平成31年度
交付対象集落	32集落
交付対象面積	1,973,101 ㎡

（単位：千円）

項目	金額	摘要
交付金	34,515	32集落分
事務費	161	
需用費	101	消耗品費
役務費	40	通信運搬費
使用料	20	コピー使用料
合計	34,676	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
耕作放棄地発生の防止や多面的機能を確保するため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年以上継続して農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを推進する。

成果
集落活動による健全な生産基盤の維持が図られ、農地の多面的機能が発揮される。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	25,722
市債	
その他	
一般財源	8,954
H30予算額	34,676
H29当初予算額	34,582
H29現計予算額	34,582
増減額	94

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	34,703	34,582
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	37,103	36,982

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	集落数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	32	単位	集落	32	単位	集落
単位当たりコスト　（円）	1,159,469			1,155,688		

特定財源の状況

中山間地域等直接支払交付金
25,722千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業経営体育成支援事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	7	経営体育成交付金

事業の目的

昨今の日本の農業は、農業所得の激減、農業従事者の減少や高齢化の進展、農地面積の減少等を受け、厳しい状況におかれている。
このような中で、農業生産の持続性を確保し、意欲ある多様な経営体の育成や確保を図っていくことが必要である。
このため、それぞれの経営体が直面している課題に応じた、きめ細やかな支援の実施を通じ、意欲ある多様な経営体の育成や支援を行う。

根拠条例等	宇陀市経営体育成支援事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

補助概要：融資主体型補助

項　目	摘　　要	金　額
事業費	4経営体	11,792,880 円
補助率	事業費の30%以内	
交付金	11,792,880円×30%＝3,537,864円	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
新規就農者、認定農業者、集落営農等、人・農地プラン作成地区で、経営改善を目指す中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及びハウスの整備等で、就農の定着や農業経営規模拡大により、地域の農業を活性化させる。

成果　（単位：千円）

年　度	件数	事業費	交付金
平成26年度	2件	15,789	3,969
平成27年度	2件	10,902	3,236
平成28年度	3件	8,480	2,544

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	3,538
市　債	
その他	
一般財源	
H30予算額	3,538
H29当初予算額	5,250
H29現計予算額	5,250
増減額	▲ 1,712

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,544	600
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	2,624	680

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	事業対象者					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	3	単位	経営体	1	単位	経営体
単位当たりコスト　（円）	874,667			680,000		

特定財源の状況

農業経営体育成支援事業補助金
3,538千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	多面的機能支払交付金事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	11	多面的機能支払交付金事業

事業の目的

農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。

そのため、地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地や農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路や農道・ため池等、施設の長寿命化を図るための取組に対して支援を行う。

根拠条例等	多面的機能支払交付金実施要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

（単位：千円）

項目	金額	摘要
農地維持支払	11,669	継続28組織・新規2組織
資源向上支払		
共同活動	7,006	継続28組織・新規2組織
施設の長寿命化	9,265	継続15組織
事務費		
需用費	161	消耗品費
役務費	41	通信運搬費
合計	28,142	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標

・農地維持支払及び資源向上支払（共同活動）

地域共同による草刈りや土砂上げ等、農地・水路等の基礎的な保全管理及び花植え等良好な景観形成を保つための活動により、農村環境改善が見込まれる。

・資源向上（施設の長寿命化）

農業用水路等の補修・更新など、施設の長寿命化のための活動により、農業基盤が整備される。

成果

農地維持支払及び資源向上（共同活動）活動による農地、水路等の基礎的な保全管理や農村環境の保全、及び農業用水路等の補修・更新等施設の長寿命化など、地域ぐるみによる協力体制により、良好な農村の景観形成を築くことができる。また、資源向上（施設の長寿命化）活動により、農業施設の基盤整備を行うことができる。

財源の内訳	（単位：千円）
分担金	
使用料	
国費	
県費	21,154
市債	
その他	
一般財源	6,988
H30予算額	28,142
H29当初予算額	28,870
H29現計予算額	28,870
増減額	▲ 728

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	27,599	26,270
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	29,999	28,670

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	活動組織数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	28	単位	活動組織	27	単位	活動組織
単位当たりコスト（円）	1,071,393			1,061,852		

特定財源の状況

多面的機能支払交付金　21,154千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宮奥ダム管理運営事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀川の最上流に位置する宮奥ダムの適切な管理運営により、大宇陀南部地域の安定した農業用水及び生活用水の確保を行う。 また、水辺公園の維持管理を行い、市民に憩いの場を提供する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	25	宮奥ダム管理費

根拠条例等	宇陀市宮奥ダム管理条例、同施行規則、河川法、同施行令、同施行規則、水利使用規則
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

大宇陀南部地域の安定した農業用水及び生活用水を確保するため、老朽化対策に取り組むと共に、良好で安全な生活空間を確保する。また、宮奥ダム水辺公園の維持管理により市民に憩いの場を提供する。

項目	金額（千円）	摘要
旅費	1	
需用費	1,798	電気料金、機器修繕料等
役務費	735	電話回線使用料等
管理業務委託料	4,832	定期点検、除草・清掃作業等
施設更新委託料	10,000	計装設備機能診断委託
公課費	7	
合計	17,373	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
各種法令に即した運営管理と、適切なメンテナンスによる施設の長寿命化や安全性を確保する。

成果
安定した農業用水及び上水の確保と、豪雨時による下流河川の減災効果が確保できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	5,000
市債	5,000
その他	
一般財源	7,373
H30予算額	17,373
H29 当初予算額	16,592
H29 現計予算額	16,592
増減額	781

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,832	14,152
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	8,232	14,552

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	受益面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	297	単位	ha	297	単位	ha
単位当たりコスト　（円）	27,717			48,997		

特定財源の状況

農山漁村地域整備交付金　5,000千円
過疎対策事業債　5,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	90	環境保全型農業直接支援対策事業

事業の目的

農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に、積極的に貢献することが重要となっている。
そのため、環境保全の高い営農活動に取り組み、販売を目的として生産を行う農業者に対して支援を行う。

根拠条例等	宇陀市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

対象者	エコファーマー認定者・有機農業に取組む農業者
対象事業	化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組と炭素を多く含んだ堆肥による水質保全に資する施用、有機農業等
事業取組計画農地	A＝1,000a×2品目作付加算
交付額	1,000a×8,000円/10a×2品目＝1,600,000 円 （国：4,000円/10a　県：2,000円/10a 市：2,000円/10a）
事務費	24,000 円
事業費合計	1,624,000 円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
農業生産活動による、環境負荷発生リスクの軽減

成果

年度	人数	面積
平成25年度	10人	889 a
平成26年度	11人	948 a
平成27年度	11人	1,627 a
平成28年度	12人	1,562 a

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	1,224
市債	
その他	
一般財源	400
H30予算額	1,624
H29当初予算額	1,624
H29現計予算額	1,624
増減額	

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,268	1,036
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費（人工×8,000千円）	160	160
総事業費：人件費含む（千円）	1,428	1,196

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	取組面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,562	単位	a	1,250	単位	a
単位当たりコスト　（円）	914			957		

特定財源の状況

環境保全型農業直接支払交付金
1,224千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業次世代人材投資事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、経営が不安定な就農直後（最長5年間）の所得を確保するため給付金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	91	新規就農者確保事業

根拠条例等	宇陀市青年就農給付金事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

要　　件　：　就農時45歳未満で独立・自営就農した者で、就農後の総所得が350万円未満の者
給　付　額　：　年間1,500,000円／1名
給 付 期 間　：　最長5年間
平成30年度概要　：　新規　4名　6,000,000円（国庫100%）
継続　6名　9,000,000円（国庫100%）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
新規就農者が、農地の集積などにより、新たな地域の担い手農家となり得ることから、この制度を活用し、年次的に就農者の増加を目指す。

成果

年　度	新規就農者数
平 成 24 年 度	6人
平 成 25 年 度	1人
平 成 26 年 度	1人
平 成 27 年 度	1人
平 成 28 年 度	3人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	15,000
市　債	
その他	
一般財源	
H30予算額	15,000
H29 当初予算額	10,500
H29 現計予算額	10,500
増減額	4,500

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	9,320	9,000
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	9,720	9,400

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	新規就農者・継続者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	7	単位	人	6	単位	人
単位当たりコスト　（円）	1,388,571			1,566,667		

特定財源の状況

農業次世代人材投資事業補助金
15,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	団体営ため池防災対策調査計画事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的

東日本大震災において、ため池などの農業水利施設が被災し、人命が失われるなどの被害が発生したため、施設の現状を確認し災害予防に努める必要がある。
このため、農業用水利施設であるため池の耐震診断により、施設整備に先行して、短期間・低コストで実現可能な減災対策を実施し施設の安全を図るとともに、地域の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	97	震災対策農業水利施設整備事業

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

（単位：千円）

委　託　内　容	委託箇所数	事業費
ため池耐震診断等業務委託	1箇所	12,000

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
ため池施設の現状を把握し、施設の安全を図るとともに、地域の安全を確保する。

成果

年　度	摘　要	点検箇所数
平成25年度	2ha以上のため池	84箇所
平成26年度	2ha未満1,000㎥以上のため池	33箇所
平成27年度	2ha未満1,000㎥未満のため池	70箇所
平成28年度	ハザードマップ作成業務委託	2箇所
平成29年度（見込）	再点検業務委託	1箇所
	耐震診断業務委託	1箇所
	ハザードマップ作成業務委託	1箇所

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	12,000
市　債	
その他	
一般財源	
H30予算額	12,000
H29 当初予算額	18,300
H29 現計予算額	18,300
増減額	▲ 6,300

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,592	15,187
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	2,992	15,587

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	点検箇所数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	2 単位 箇所	3 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	1,496,000	5,195,667

特定財源の状況

団体営ため池防災対策調査計画事業補助金　12,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	経営所得安定対策において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務を行う。 また、集落営農の法人化に必要な事務費助成や、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	98	経営所得安定対策直接支払推進事業

根拠条例等	奈良県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

経営所得安定対策の実施に必要となる推進活動や、要件確認等を行う。

（単位：千円）

項　目	金　額	摘　要
賃　金	1,927	臨時職員賃金
報償費	665	現地確認手当
需用費	260	消耗品費、燃料費等
役務費	50	郵送料
使用料	120	コピー・会場使用料郵送料
合　計	3,022	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
経営所得安定対策の推進活動を行い、制度加入者への申請書類等の配布・回収や申請手続きの支援を行い、近畿農政局奈良支局等へ情報を提供する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	2,641
市　債	
その他	
一般財源	381
H30予算額	3,022
H29 当初予算額	3,030
H29 現計予算額	3,030
増減額	▲ 8

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,442	3,030
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	4,042	4,630

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	現地確認者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	105	単位	人	135	単位	人
単位当たりコスト　（円）	38,495			34,296		

特定財源の状況

経営所得安定対策直接支払推進事業補助金　2,641千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水田活用経営所得安定対策交付金事業（振興作物助成）

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	98	経営所得安定対策直接支払推進事業

事業の目的

水田の生産調整の推進と併せ、大豆・小豆の土地利用型作物の生産奨励を行い、大豆・小豆の産地化やブランド化を推進する。

根拠条例等	宇陀市水田活用振興作物助成交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

水田活用経営所得安定対策交付金
　対象作物 ： 大豆・小豆
　10a当たり5,000円の奨励
　事業費 ： 2,000a×5,000円/10a＝1,000,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標　大豆・小豆の産地化とブランド化を推進する。

実績

年　度	生産面積
平 成 25 年 度	1,230 a
平 成 26 年 度	1,316 a
平 成 27 年 度	1,136 a
平 成 28 年 度	1,402 a

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,000
H30予算額	1,000
H29 当初予算額	1,000
H29 現計予算額	1,000
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	701	1,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,501	1,800

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	生産面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,402	単位	a	2,000	単位	a
単位当たりコスト　（円）	1,071			900		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(4)水田活用経営所得安定対策交付金

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地籍調査事業

所管課	145	地籍調査課	（建設部）

事業の目的	宇陀市の民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資すると共に、併せて地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	5	地籍調査費
細目	1	本庁地籍調査費

根拠条例等	国土調査法第6条の4(事業計画の実施等)
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要	平成30年度地籍調査事業実施概要 ・榛原下井足第3期地区（面積37万㎡1,200筆） 現地一筆地調査・一筆地測量 ・大宇陀岩清水2期地区(面積30万㎡650筆) 一筆地調査閲覧・地籍図原図作成・地籍簿案作成
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手。現在調査70地区5,418万㎡、進捗率は約23%。調査完了地区では、この事業により土地保全がなされ、下記の効果が得られる。 ①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物の管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	16,575
市　債	
その他	
一般財源	5,525
H30予算額	22,100
H29 当初予算額	15,756
H29 現計予算額	15,756
増減額	6,344

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	21,272	13,156
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む（千円）	33,272	25,156
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名	実施面積	
活動指標の算式	総事業費／実施面積	
活動指標の実績(見込)	56 単位 万㎡	30 単位 万㎡
単位当たりコスト　（円）	594,143	838,533

特定財源の状況
地籍調査事業費負担金　16,575千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (4)地籍調査の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林道台帳整備委託事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	農道及び林道台帳を整備し、建設課所有の市道路台帳管理システム「PASCAL」及び道路台帳と同様のデータベースを図ることにより、農道及び林道の適正な維持管理を行うとともに安全性、利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費

根拠条例等	道路法第28条
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要	農道及び林道土地等調査事業　3,000,000円 ・保有資料の整理・概略基本図作成 ・法務局調査（公図・地積測量図転写・連続図作成・登記調査等） ・現況素図作成（保有図重ね図・建設課道路現況図・税務課（参考）地番図・法務局調査結果割込図等） 農道登記調査費　2,500,000円 ・未登記農道用地の年次的な調査登記業務

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	目標 農道及び林道を建設課所有の市道路台帳管理システムと同じ基本データにする事で、適正な維持管理を行うことができるとともに、安全性、利便性の向上を図る。

成果

年　度	路 線 数
平 成 26 年 度	2路線
平 成 27 年 度	3路線
平 成 28 年 度	6路線

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,500
H30予算額	5,500
H29 当初予算額	5,500
H29 現計予算額	5,500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,441	5,500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	8,241	6,300

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	調査路線数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	6	単位	路線	4	単位	路線
単位当たりコスト　（円）	1,373,500			1,575,000		

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道大野向渕線整備事業負担金

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費

事業の目的

農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道や、基幹農道以外の基幹となる農道を県営事業で実施する。

根拠条例等	土地改良法第91条第6項
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

（単位：千円）

項　　目	金　　額
工事請負費	169,000
測量試験費	5,000
用地補償費	3,000
工事雑費	4,400
事務費	9,000
合計	190,400
市負担金　15%	28,560

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

農業経営の合理化、農業生産力の向上や、生活環境の利便性の向上を推進する。
また、中山間地域における農林業の生産力向上や利便性の向上を図り、地域住民生活の安定を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	28,500
その他	
一般財源	60
H30予算額	28,560
H29当初予算額	23,570
H29現計予算額	23,570
増減額	4,990

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	5,492	15,000
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費（人工×8,000千円）	160	160
総事業費：人件費含む（千円）	5,652	15,160
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	受益面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	203 単位 ha	203 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	27,842	74,680

特定財源の状況

過疎対策事業債　28,500千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	空き店舗等情報バンク事業

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
細目	1	産業企画費

事業の目的

市内の不動産会社等と連携し、市内の空き店舗情報を集め、市ホームページで公開し、空き店舗等の利活用を促していく。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要

市ホームページ内で、空き店舗等情報バンクを開設する。
・需用費（募集・PRチラシ印刷代）　100千円

事業の目標・成果
（これまでの成果，今後の見通し）

商店街等の空き店舗での企業機会を提供することにより、空き店舗の有効活用が図られ、地域の活性化に繋がる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	100
H30予算額	100
H29 当初予算額	
H29 現計予算額	
増減額	100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(12)空き店舗情報バンク事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	うだ産フェスタ事業

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀市における特産品や自慢の産品を一同に集め、広く市内外に推奨することにより、地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ、生産者の生産意欲の向上と地域産業の担い手づくりを図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
細目	1	産業企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要	【予算概要】 うだ産フェスタ実行委員会補助金　3,000,000円 開催日時：平成30年10月下旬開催予定 午前10時から午後3時 場　所：宇陀市総合体育館　周辺 開催内容：協賛団体の展示・特産品名産品等の販売 農産物の販売等 ※全国薬草シンポジウムと同時開催を予定
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	宇陀市、奈良県、宇陀商工会、森林組合、JA奈良県、宇陀農業共済組合、宇陀市観光協会が実行委員会を立ち上げ、市の特産品や新鮮野菜等の販売、PRを行うとともに、宇陀市内で営業活動を行っている企業等のPR活動を市内外に行うことにより、地域産業の活性化、地産地消の促進、生産意欲の向上、新鮮野菜等のブランド化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,000
H30予算額	3,000
H29当初予算額	3,000
H29現計予算額	3,000
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,000	3,000
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	7,000	7,000
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	来場者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	6,000 単位 人	2,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,167	3,500

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2)うだ産フェスタ開催

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	有害獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合に対し補助金の交付を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

事 業 主 体 ： 自治会及び農家組合
補 助 要 件 ： 新たに狩猟者免許を取得した者2名を含む3名以上が対象
補 助 金 額 ： 1地区40,000円以内
事 業 概 要 ： 新規5地区×40,000円＝200,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
集落・地域単位での取り組みにより、捕獲効率の向上を図る。

成果

年　度	地区数	摘　要
平 成 26 年 度	6地区	新規5地区、継続1地区
平 成 27 年 度	4地区	新規4地区
平 成 28 年 度	1地区	新規1地区

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	200
H30予算額	200
H29 当初予算額	200
H29 現計予算額	200
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	40	200
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,640	1,800
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	地区数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	1 単位 地区	1 単位 地区
単位当たりコスト　（円）	1,640,000	1,800,000

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(6)有害鳥獣対策の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり、鳥獣害防止対策事業の実施を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要	ソフト事業 ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 ニホンジカの行動範囲調査 モンキードッグ育成 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等 緊急捕獲活動 ハード事業 防除柵設置
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成28年度 鳥獣被害防止施設設置　17地域　30.9km ニホンザル生態調査 ニホンザル位置情報発信 不要果樹伐採、緩衝帯整備 研修会開催 平成29年度見込み ニホンザル生態調査 ニホンザル位置情報発信 ニホンジカ行動範囲調査 不要果樹伐採、緩衝帯整備 研修会開催

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,100
H30予算額	1,100
H29当初予算額	1,100
H29現計予算額	1,100
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,100	1,100
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	2,700	2,700

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	有害鳥獣捕獲頭数（宇陀・名張地域）					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,011	単位	頭	1,281	単位	頭
単位当たりコスト　（円）	2,671			2,108		

特定財源の状況	
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (6)有害鳥獣対策の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取り組み（地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業　例：間伐・作業道開設）を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

森林所有者等が実施した森林整備（間伐、作業道開設）に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。
市では、市内森林組合が森林所有者の代理となって交付申請を行なう。

事業概要	：	間伐133ha　作業道3,500m
総事業費	：	65,176,000円
国庫補助金	：	32,588,000円
事業主体負担金	：	32,588,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
地球温暖化に向けた森林吸収目標の達成と、森林の多面的な機能の持続的発揮のため、平成25年度から平成32年度の8ケ年間に、宇陀市で709haの間伐を目標とする。

第2期（平成25年度～32年度）実績

年度	間伐面積	作業道延長
平成25年度	88.3ha	3,352m
平成26年度	102.9ha	6,575m
平成27年度	130.0ha	4,488m
平成28年度	171.5ha	5,556m

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	32,588
県費	
市債	
その他	
一般財源	
H30予算額	32,588
H29当初予算額	37,170
H29現計予算額	38,974
増減額	▲ 4,582

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	47,390	38,974
従事職員数【人工】	0.04	0.04
人件費（人工×8,000千円）	320	320
総事業費：人件費含む（千円）	47,710	39,294

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	間伐面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	171.5	単位	ha	200.0	単位	ha
単位当たりコスト　（円）	278,192			196,470		

特定財源の状況

美しい森林づくり基盤整備事業交付金
32,588千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	里山の広葉樹林再生事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

事業の目的

拡大造林政策により、里山にまで植林されたスギ・ヒノキが利用されずに荒廃し、人家周辺の里山林の整備が放置されている。
そのため、国・県補助の対象とならない、里山の人工林を整備する市民活動に補助を行い、樹種転換を推進する。

根拠条例等	宇陀市里山の広葉樹林再生事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

人家から50m程度までのスギ・ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、その経費を補助する。

（単位：千円）

項　目	地区数	金額	摘　　要
新　規	2地区	1,000	1事業地500千円以内
継　続	1地区	21	下刈り1事業地21千円
合　　計		1,021	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

環境保全林・景観保全林・水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている公益的機能を回復させ、土砂崩壊災害やスギ・ヒノキの花粉飛散量の低減を図る。

成果

年　　度	地区数	摘　　要
平成25年度	3地区	新規1地区
平成26年度	3地区	新規3地区
平成27年度	3地区	新規2地区、継続1地区
平成28年度	3地区	新規2地区、継続1地区

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,021
H30予算額	1,021
H29当初予算額	1,063
H29現計予算額	1,063
増減額	▲ 42

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,000	1,063
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	1,080	1,143

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	新規取組地区	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	2 単位 地区	2 単位 地区
単位当たりコスト　（円）	540,000	571,500

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(10)里山の広葉樹林再生事業補助金

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市町村森林所有者情報活用推進事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

事業の目的	森林施業の集約化を進める上で、所有者や境界の特定が困難な森林の存在が大きな課題となっている。 そのため、森林法改正により林業事業体等の担い手に提供する仕組みが創設され、市町村が所有者や境界の情報を取りまとめた林地台帳を平成31年4月までに作成し、公表する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要	市町村がデータの共有化に配慮しつつ林地台帳を効率的に管理・活用するために必要なシステムの整備を行う。 ①林地台帳を管理・活用するためのシステムの整備 ②森林簿と林地台帳の共有管理システムの導入
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	所有者や境界の情報を一元的に取りまとめた林地台帳を作成することにより、森林施業の集約化を進める上で課題となっている所有者や境界の特定が解消でき、森林組合や林業事業体等の担い手が施業集約化を促進できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	810
市　債	
その他	
一般財源	810
H30予算額	1,620
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	1,620

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
市町村森林所有者情報活用推進事業補助金　810千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費

事業の目的

平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について、森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。
森林所有者の事業費負担なし（100%県費）。

根拠条例等	奈良県森林環境税条例
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

事業内容　10年以上放置された人工林を対象に40%以上の間伐
事業量　　A＝100ha

項　目	金額：千円
施業放置林整備事業委託料　（100ha）	36,000
森林マネジャー賃金　（4名×31日）	1,028
旅費（普通旅費）	20
需用費（消耗品、燃料費等）	860
役務費（通信運搬費）	200
使用料及び賃借料（コピー使用料）	200
合　計	38,308

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
森林を針広混交林に誘導することにより、施業放置林の公益的機能の維持増進を図るとともに、将来的に人出のかからない森林を育成することを目的とする。

成果

年　度	間伐面積
平成25年度	88.3 ha
平成26年度	126.7 ha
平成27年度	92.8 ha
平成28年度	85.1 ha

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	38,308
市　債	
その他	
一般財源	
H30予算額	38,308
H29当初予算額	37,673
H29現計予算額	37,673
増減額	635

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	29,892	37,673
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	32,292	40,073

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	間伐実施面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	85.1	単位	ha	100.0	単位	ha
単位当たりコスト　（円）	379,459			400,730		

特定財源の状況

森林環境税施業放置林整備事業
委託金　38,308千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	室生分収造林育成事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	84	分収造林育成事業費

事業の目的

独立行政法人森林総合研究所　森林農地整備センター　奈良水源林整備事務所が実施する、分収造林事業を行う団体（室生総自治会）に対し、補助金を交付する。
分収割合：森林総合研究所40%、室生総自治会60%

根拠条例等	宇陀市分収造林事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

独立行政法人森林総合研究所　森林農地整備センター　奈良水源林整備事務所と室生総自治会とが協議を行い、分収造林地の造林事業（下刈りや間伐、作業道設置等）を実施する。
造林事業経費については、100%独立行政法人森林総合研究所が負担する。
分収造林地面積　A=73.07ha

平成30年度概要
事業費　3,000千円
間伐等整備面積　A=15ha

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
分収造林事業により、地域森林資源の整備や確保を行う。

平成29年度見込み
事業費　3,000千円
間伐等整備面積　A=15ha

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	3,000
一般財源	
H30予算額	3,000
H29 当初予算額	3,000
H29 現計予算額	3,000
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,333	3,000
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	3,413	3,080
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	造林事業面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	15 単位 ha	15 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	227,533	205,333

特定財源の状況

雑入（分収造林育成事業補助金）
3,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良県産材生産促進事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	86	県産材生産促進事業

事業の目的

森林の保全や水源のかん養など、森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした、間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材（間伐材）の搬出及び利用促進を図るため、県が定める宇陀市内の森林組合を含む認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。

根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　農林業の活性化

H30年度事業の概要

搬出コストの不採算により、未利用となっている県産材の搬出事業を行う認定事業体に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。

搬出計画量		2,450 ㎥
1㎥当たり	県費	2,000 円
	市費	1,500 円
	合計	3,500 円
事業費		8,575,000 円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
森林の保全や水源のかん養など、森林の有する公益的機能の、持続的な発揮を目的とした、間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図る。

成果

年度	排出量
平成25年度	1,700 ㎥
平成26年度	1,560 ㎥
平成27年度	1,520 ㎥
平成28年度	1,951 ㎥

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	4,900
市債	
その他	
一般財源	3,675
H30予算額	8,575
H29当初予算額	7,875
H29現計予算額	7,875
増減額	700

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	6,829	6,524
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	10,029	9,724

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	搬出量					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,951	単位	㎥	1,864	単位	㎥
単位当たりコスト　（円）	5,140			5,217		

特定財源の状況

県産材生産促進事業補助金
4,900千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他の農林業予算